

2020年度 外国人留学生 学部1年次入学試験問題

(農学部 植物生命科学科・資源生物科学科・食料農業システム学科)

2019年11月23日(土)

(科目名:小論文)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

表1を見て、後の問い(問1と問2)に答えなさい。問題用紙余白や裏面を用いて案文を作成し、解答は別紙解答用紙の指定の場所に消書きなさい。

表1 2013年諸外国の品目別自給率(単位:%)

	年	穀類	穀類内訳			いも類	豆類	野菜類	果実類	肉類	卵類	牛乳・乳製品	魚介類	砂糖類	油脂類
			食用穀物	うち小麦	粗粒穀物										
アメリカ	2013	127	170	170	121	96	171	90	74	116	105	104	70	79	94
カナダ	2013	202	425	448	118	147	346	55	17	129	94	95	96	9	229
ドイツ	2013	113	132	152	87	117	6	40	25	114	71	123	24	106	86
スペイン	2013	75	75	72	75	60	11	183	135	125	108	76	60	23	111
フランス	2013	189	176	190	214	116	78	73	57	98	100	123	30	182	85
イタリヤ	2013	69	73	66	65	45	34	141	106	79	90	68	19	17	42
オランダ	2013	16	25	27	7	221	0	284	22	176	241	224	65	122	56
スウェーデン	2013	110	91	98	130	75	57	38	4	63	95	87	52	98	32
イギリス	2013	86	79	82	99	75	39	38	5	69	88	81	55	59	51
スイス	2013	42	40	43	47	75	29	46	37	80	54	102	2	54	35
オーストラリア	2013	279	326	342	214	82	276	82	90	166	99	146	29	228	142
日本	2013	28	60	12	1	76	9	79	40	55	95	64	55	29	13
	2014	29	61	13	1	78	10	79	42	55	95	63	55	31	13
	2015	29	61	15	1	76	9	80	41	54	96	62	55	33	12
	2016	28	61	12	1	74	8	80	41	53	97	62	53	28	12
	2017	28	60	14	1	74	9	79	40	52	96	60	52	32	13
	2018	28	60	12	1	73	7	77	38	51	96	59	55	34	13

(資料) 農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」を基に農林水産省で試算した。

- (注) 1. 穀類のうち、米については玄米に換算している。
 2. 食用穀物とは、小麦、ライ麦、米及びその他の食用穀物(日本はそばを含む)の合計である。
 3. 粗粒穀物とは、大麦、オート麦、とうもろこし、ソルガム、ミレット及びその他の雑穀(日本は裸麦を含む)の合計である。
 4. 牛乳・乳製品については、生乳換算によるものであり、バターを含んでいる。
 5. 魚介類については、飼肥料も含む魚介類全体についての自給率である。

出典: 農林水産省 平成30年度食料需給表 公開資料

問1 日本と諸外国を対比させて、表1から読み取れることを300字以内に要約して記述しなさい。

問2 表1および自身の知識にもとづき、農学の役割や使命について考察し、200字以内で記述しなさい。

2020 年度 外国人留学生 学部 1 年次入学試験問題

(農学部 食品栄養学科)

(科目名:小論文)

2019 年 11 月 23 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の文章を読んで、以下の問（問 1～問 3）に答えなさい。

食品に含まれる成分のうち、生命の維持に必要な成分を栄養素という。栄養素にはエネルギー源となりうる糖質、脂質、タンパク質があり、それらと無機質、ビタミンをあわせて五大栄養素とよぶ。

問 1 糖質に分類される分子を一つ挙げ、構造と機能について述べなさい。

問 2 無機質の一つである、カルシウムの役割について説明しなさい。

問 3 タンパク質が多く含まれる食品を一つ例として挙げ、栄養効果について述べなさい。

得点